

# 1 みんなで記録しよう

保育者一人ひとりが、思い思いに自分のやり易い方法でメモや記録をしている場合が多いと思います。では、その記録は有効に活用されているでしょうか？記録を保育者みんなで見たり話し合いに使ったりすることで、記録の視点が明らかになり、保育者に子どもの姿を読み取る力が付くことが期待できます。

## 子どもの「なぜ？」「どうして？」と思う行動や表情・言葉

社会福祉法人晴朗会 すくすく保育園（大阪府）

保育者が子どもの行動や表情・言葉を記録し、「なぜ？」「どうして？」と深く考察することを試みた。全保育者が、同じ基盤で子どもを見つめ、幼児の心を理解することによって、「科学する心」に迫る手立てや援助の在り方を探ることができるのではないかと考えた。

### ① コメント用紙に随時記入

**目的：**子どもの表情や行動だけでなく、「なぜ、こんなことをしているのか」「なぜ、繰り返しているのか」「何に魅かれているのか」と心の内面を深く理解する。

**方法：**コメント用紙へメモをする。

**成果：**子どもを取り巻く世界が全て「科学する心」に繋がっていた。そこで、その場面で、子どもが何を感じ、どのように遊んでいるのかを深く理解したいと考えた。

コメント用紙				
ポイント：科学する心が育まれる場面を捉えて考察				
年齢	日時	月	日（ ）	天気
場所				
様子				

「はっ」と気付いた時にいつでも書ける用紙

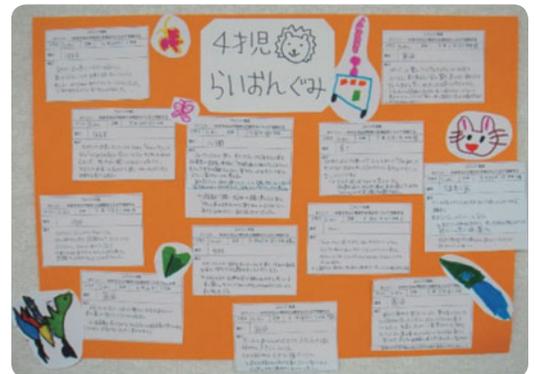
### ② コメント用紙を回覧して共通理解

**目的：**理解を深めるためにみんなで記録を見合う。

**方法：**記録を見易いように掲示したり回覧したりする。

**成果：**保育者一人ひとりの目の付けどころの違いが、互いの学びになった。自分が担任している年齢の子どもの理解だけでなく、成長の過程から見つめた今の年齢の子どもを理解できる。

0～5歳児までの子どもの姿を捉えた時、子どもを取り巻く環境そのものが、全て不思議の世界であり、それに関わっていく姿そのものが「科学する心」ではないかと考えた。



みんなで記録しよう

### ③ コメント内容を分類し、タイトルをつけて事例に

**目的：**共有した記録を分類・整理し、事例にして考察する。

**方法：**子どもの姿や体験が共通しているコメント用紙の内容を分類・整理して考察し、タイトルを付けて事例にまとめる。

**成果：**子どもが心を動かして遊ぶ過程は、0～5歳児に至るまで知的探求活動を行う道筋である。そこには、気付く・知りたい・試すなどの関わりや、魅かれる・悲しむ・かわいいなどの感じる心が「科学する心」に繋がっていることが分かった。

こうして分類整理することで、次第に全保育者が同じ基盤で子どもを理解することに繋がっていくと考えた。

タイトル…年齢

遊びの内容	科学する心が育まれる場面	考察

まとめの考察

**<考察>** 1～2歳児では、「不思議だな？」と感ずることから、「なぜだろう？」「やってみよう！」と試すところに、3～4歳児には、試行錯誤する姿が、創造性の芽生えに繋がっていた。